

# Istanbul Weekly vol.6-no.21

## イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2017年6月2日（金）

### — 今週のポイント —

- 政治**：国会のクーデタ未遂事件調査特別委員会、報告書案を公表。  
エルドアン大統領、NATO 首脳会合の機会に EU 首脳等と会談。
- 経済**：4月の貿易赤字、50億ドルに拡大。  
トルコ政府、負債再建計画により210億トルコリラを回収。  
プーチン大統領、ロシアにおけるトルコ企業の活動制限等一部解除。
- 治安**：アンカラでテロを企図した ISIL 戦闘員2名は「レイナ事件」実行犯と同じ潜伏グループ。  
警察がサカリヤ県で ISIL の主要メンバーを逮捕。
- 軍事**：シュルナク県で軍のヘリコプターが墜落し、兵士13名が死亡。
- 社会**：イスタンブール音楽祭が開幕。  
イスタンブール・トンネル建設プロジェクトがスタート

### 政治

#### ●エルドアン大統領、イスタンブール征服564年記念イフタールに出席

5月28日、エルドアン大統領は、イスタンブール市内において、1453年のオスマン帝国によるイスタンブール征服から564年目を記念するイフタールに出席した。各界代表が招待された同イフタールにおいて同大統領は、「イスタンブールに奉仕することは、トルコに奉仕することにほかならない。」と述べて、イスタンブールはトルコの「縮図」であると強調した。（5月29日付S紙22面）

#### ●AKPの新執行部体制が決定

5月21日に開催されたAKP臨時党大会でのエルドアン大統領の党首再選を受け、AKPの新しい執行部体制が固まった。党中央決定執行委員50名の選出に続き、5月29日には非閣僚メンバーから成る党最高機関である中央決定委員会の委員23名が選出された。FETOへの関与が取りざたされてきたディシュリ副党首等が委員から外れた点が注目されたが、結果的には入替え3名の小幅な変更にとどまった。（5月23日付M紙インターネット版）

#### ●国会のクーデタ未遂事件調査特別委員会、報告書案を公表

5月30日、国会に設置されたクーデタ未遂事件調査特別委員会の報告書案が公表された。クルチダルオール CHP 党首は、同報告書案は、クーデタ未遂事件の真相を明るみにするのではなく、真実に「いかに蓋をするか」に力点が置かれたものだと強く批判した。また、バイデミル HDP 議員（党報道官）も、同報告書案は「クーデタ未遂事件の真実を隠蔽」し、AKP が自らの「無実の証明」を自作したものだと

非難した。（5月31日付C紙5面）

●エルドアン大統領、AKPとしての将来的な目標に言及  
5月30日、エルドアン大統領のAKP党首就任後初の国会内の党会合が開催され、同党首は、2019年の大統領選挙と国会総選挙で必ず勝利するために、特に地方組織の再編を加速すると強調し、180日間の短期行動計画を策定し、国民の期待に応えると改めて述べた。また、2023年「共和国建国100周年」を目指した改革をより一層推進していくとともに、「2035年」を見据えた取り組みも開始したと言及した。（5月31日付M紙インターネット版）

#### ●エルドアン大統領の主宰で国家安全保障会議が開催

5月31日、エルドアン大統領の主宰で国家安全保障会議の定例会合が開催された。約4時間半にわたって行われた会合後の書面発表では、シリアにおいて「PKK/YPGに対して行われている支援」に関し、友好国の行為としてふさわしくないとして米国の姿勢を批判する記述が注目された。また、トルコは、EU加盟実現という目標に向けて、欧州との間で一致したシリア難民に関する合意等が着実に履行されるよう目指す旨が強調された（6月1日付S紙20面）

#### 【外交】

#### ●エルドアン大統領、NATO 首脳会合の機会に EU 首脳等と会談

5月25日、NATO 首脳会合出席のためベルギーを訪問したエルドアン大統領は、トゥスク欧州理事会議長及びユンカー欧州委員長と会談した。同大統領は、「EU加盟実現に向けて前向きであった」と評価するとともに、トルコのEU加盟実現に向けた12か月にわたる作業工程表を作成することでEU側と合意したことを明らかにした。また、同

大統領は、マクロン仏新大統領、メルケル独首相、メイ英首相等とも個別に会談を行った。(5月26日付H紙1面)

#### ●欧州議会選挙監視団、国民投票に関する報告書を公表

4月16日に行われた国民投票に関し、欧州議会による選挙監視団の最終報告書が公表された。同報告書は、非常事態宣言によって真の意味での民主的な国民投票プロセスが必要とされる基本的権利が制限されていたとし、政府や自治体がこぞって「賛成」キャンペーンを繰り広げたことはバランスを欠いたものであると批判した。また、高等選挙委員会が公印なき投票用紙を有効と認めたことについて、「法の信頼性を損なうもの」と記載した(6月1日付C紙4面)

## 経済

### 【マクロ経済】

#### ●4月の貿易赤字、50億ドルに拡大

5月31日に公表されたトルコ統計庁(TÜİK)データによると、トルコの対外貿易赤字は4月に49.5億ドルに達し、対前年同月比16.7%増加、輸入は同9.9%増の177億ドル、輸出は同7.4%増の128億ドルとなった。また、2017年の最初の4か月間の貿易赤字は175億ドルで、対2016年同期間比7.1%の増加となった。(6月1日付HDN紙10面)

#### ●フィッチ、イズミル市の格付けをAAAに

格付け会社フィッチは、イズミル市の長期格付について、同市は2016年の事業収益率が50%を上回り、慎重な行政と地方税収を支える地域経済が好調であるとの理由により、「AA+」の格付けを「AAA」に引き上げた。同市はこれで、フィッチとムーディーズという2つのトップ格付け会社から最高の「投資可能」格付けを得たこととなる。(5月29日付HDN紙11面)

#### ●トルコ政府、負債再建計画により210億トルコリラを回収

アーバル財務相は、現在の債務返済及び税制改革計画に基づき、政府として210億トルコリラ(59億ドル)を回収したと述べた。同計画は、2016年7月のクーデター未遂事件後、国民が税金の支払等が困難な状況に陥ったとして策定していたもの。一方で、同相は同様の債務再編計画が次々に策定されるような事態となつてはいけないと述べた。(5月30日付HDN紙11面)

### 【経済政策】

#### ●トルコからロシアへのトマト禁輸措置、一部解除の提案

トルコは、トマトの禁輸を巡るロシアとの貿易問題を解決するため、ロシアの農家がトマトを生産することができない期間にトルコのトマト輸出の禁止を解除する提案をしている。ロシア当局は、5月上旬に、トルコからのトマト輸入制限は、今後3年から5年の間「何らかの形で」維持されると述べた。一方、トルコのゼイベキジ経済相も、トルコとして解決案を提案したが「この問題の解決策は簡単ではない」と述べた。(5月26日付HDN紙インターネット版)

#### ●プーチン大統領、ロシアにおけるトルコ企業の活動制限等一部解除

5月31日、ロシア政府報道官は、「トルコに対する特定の経済措置の解除に関する関連法案」にプーチン大統領が署名し、ロシアにおけるトルコ企業の活動制限及びトルコ人の雇用禁止を解除したと述べた。同法によると、短期間にロシアを訪れるビジネスマンのみならず、公用旅券所有者、航空機乗務員等は、査証無しでロシアに入国できるよ

うになる。一方、同大統領は、トルコからロシアへのトマト禁輸措置とトルコ国民に対する査証面での制限は当面維持されると述べた。(6月1日付HDN紙10面)

### 【企業等の動き】

#### ●コチ・ホールディング、自社株を売却

5月25日、コチ・ホールディングは、約4.8億ドルの自社株式を売却し、同ホールディングの株価が大幅に下落した。今般のコチの株式の売却は、グループ傘下の銀行、自動車、白物家電等の海外市場での好調な業績により、国内での株価が過去最高を記録したことを受けて行われたもの。(5月26日付HDN紙11面)

#### ●イスタンブール裁判所、Booking.comの活動再開の申し立てを却下

5月26日、イスタンブール裁判所は、Booking.com社の活動再開に係る申立てを却下した。同社が不公平な競争を行っているとのトルコの旅行業界団体(TÜRSAB)の告発を受け、トルコでの活動停止が命じられていた。同社は、同裁判所の判決に対し「失望している」と書面で発表するとともに、法的期限内に控訴する方針を明らかにした。(5月26日付HDN紙インターネット版)

#### ●アルチェリック、5年以内にアジアでの売上目標を15億ドルとする

5月30日、アルチェリック社のハカン・ブルグルルCEOは、世界経済の重心は東方に移っていると指摘し、アジアでの売上高を5年以内に15億ドルに伸ばすことを目指していると述べた。コチ・グループの中核企業である同社は、白物家電に注力。現在、同社の売上はトルコ及び西欧で約70%を占めているが、アジアへの投資強化を目指すとしている。(5月31日付HDN紙11面)

#### ●IFC、アジバーデム病院グループのブルガリア部門に1500万ユーロ投資

5月30日、国際金融公社(IFC)は、トルコの一大病院グループであるアジバーデムのブルガリア部門である、アジバーデム・シティ・クリニックの株式に1500万ユーロを投資したと述べた。同グループの中東及びバルカン諸国におけるさらなる成長、及び医療サービスの向上を企図。なお、同グループは昨年、ブルガリアの民間病院大手トクダ・グループ及びシティ・クリニック・グループを買収したことにより、同国最大手の民間医療機関となっている。(6月1日付HDN紙10面ほか)

### 【観光】

#### ●トルコへの外国人観光客、対前年同月比18.1%増

5月30日、文化観光省は4月にトルコを訪れた外国人観光客は207万人に達し、対前年同月比で18.1%増加したと公表した。特にロシアからの入国者数は対前年同月比485.7%の増加で181,865人に達し、イラクからも対前年同月比302.3%の増加で51,254人に達するなど、一部の外国からの入国者増加が全体を押し上げた形となった。(5月31日付HDN紙10面)

#### ●イスタンブールのホテル稼働率上昇

トルコ・ホテル連盟(TÜROB)は、イースター休暇と中東からの観光客数の大幅な回復により、トルコ全土のホテル稼働率は急激に上昇し、イスタンブールでは対前年比30%の増加となったと発表した。一方、同協会は、ホテルの収益は引き続き減少しており、稼働率の上昇が収益の増加につながるには時間がかかるだろうとも語った。(5月31日付HDN紙10面)

## 【エネルギー】

## ●トルコ産の地熱発電設備稼働へ

5月23日、米国オーマット・テクノロジーズのアイザック・エンジェル CEO は、イズミルに新設した同社の100%子会社であるオルマテュルクは、地熱発電のノウハウをトルコの地熱産業に伝える上で有益なプロジェクトであると述べた。また、同氏は、トルコ市場には潜在力があり、同国への投資は自信を持って行ったと述べた。(5月29日付 HDN 紙11面)

## ●黒海の高圧パイプライン建設船、チャナッカレ海峡に到着

スイスの高圧パイプライン建設船「パイオニアリング・スピリット号」のオーナーは、天然ガスパイプラインの沿岸部分の建設を行うため、5月30日に同船がチャナッカレ海峡に到着したと述べた。同パイプラインは、ロシアの黒海沿アナパからトルコまで黒海を横断するとともに、トルコ以西の近隣諸国まで延伸される予定。(5月31日付 HDN 紙10面)

## 治安

## 【PKK 関係】

## ●過去最大規模の対 PKK オペレーションを実施

5月26日、ソイル内相は、過去30年で最大規模の対 PKK オペレーションを実施したと発表した。5月18日から25日にかけて、シュルナク、ハッカリ、ディヤルバクル、エルズルム、アルダハンの各県でオペレーションが行われ、45名の PKK 戦闘員が無力化されている。また、25日には、イラク北部で PKK 戦闘員をターゲットとした空爆が行われた。(5月26日付 HDN インターネット版)



(写真は、5月26日付 HDN インターネット版より)

## ●軍がヴァン県とイラク北部で PKK に対する空爆を実施

5月27日と28日の両日、軍は、ヴァン県とイラク北部で PKK に対する空爆を行った。27日の空爆では、PKK 戦闘員10名が殺害され、ミサイル発射用ピットとシェルターが破壊された。28日の空爆では、戦闘準備をしていた PKK 戦闘員約13名を無力化し、シェルター2個、バンカー2個等が破壊された。(5月28日付 HDN インターネット版)

## ● HDP 議員をテロ組織メンバー等の容疑で逮捕

5月29日、バトマン県裁判所は、コンジャ HDP 議員をテロ組織のメンバー容疑及びテロのプロパガンダを行った容疑で逮捕した。同議員は、昨年12月13日、アンカラで逮捕され、今年5月3日に釈放されたが、5日後に再び逮捕状が発表されていた。昨年11月4日には、デミルタシュ及びユクセクダー HDP 共同党首を含む HDP 議員10名が PKK に関与した罪で逮捕され、収監中。(5月29日付 HDN インターネット版)

## 【ISIL 関係】

## ●アンカラでテロを企図した ISIL 戦闘員2名は「レイナ

## 事件」実行犯と同じ潜伏グループ

5月21日、アンカラにおいて警察のオペレーションで殺害された ISIL 戦闘員2名は、「レイナ事件」のウズベク人被疑者アブドゥルカデル・マシャリポフと同じ潜伏グループのメンバーであったとみられている。警察は、アゼルバイジャン出身の ISIL 戦闘員エブ・フセインの自供に基づき、殺害された戦闘員2名のアパートに対するオペレーションを実施していた。(5月26日付 HDN インターネット版)

## ●警察がサカリヤ県で ISIL の主要メンバーを逮捕

5月30日、警察はサカリヤ県で実施したオペレーションで ISIL 主要メンバーであるハリス・バヤンジュックを拘束した。同人は、2011年と2012年にアル・カーイダのメンバーであった容疑で逮捕されている。また、2015年には家宅捜索を受け、ISIL 関連の書類等が発見されたことにより逮捕されており、今回が4回目の逮捕となる。(5月31日付 HDN インターネット版)



(写真は、5月3日付 HDN インターネット版より)

## 【FETO 関係】

## ●NBA 選手を FETO 関与容疑で逮捕

NBA の「オクラホマ・シティー」に所属するエネス・カンター選手に対し、FETO に加担していたとして逮捕状が発表された。同選手は、FETO の通信手段アプリ「パイロック」を使用しており、ソーシャル・メディアで FETO を称賛するメッセージを共有していた。同人は、5月20日、ルーマニアの空港で拘束されていた。(5月26日付 HDN インターネット版)

(写真は、5月26日付 HDN インターネット版より)

## ●裁判所がフェトフッラー・ギュレンのトルコ市民権はく奪を要求

5月26日、アダナ第11重犯罪裁判所は、法務省に対して、米国に所在するフェトフッラー・ギュレンの国籍を剥奪するための司法手続を執るよう要求した。(5月26日付 HDN インターネット版)

## ●インターポールが FETO メンバーをタイからトルコへ移送

5月26日、FETO メンバーの容疑で逮捕状が発表されていたムハメット・フルカン・ソクメンがインターポールによってタイからトルコへ移送された。ソクメンは、ギュレン系の「ホライゾン・インターナショナル・スクール」と「メディテラニアン・インターナショナル・エドゥケーションサービス」のマネジャーを務めていたとされる。(5月27日付 HDN インターネット版)

## ●裁判所が FETO 容疑でソズジュ紙記者2名をさらに逮捕

5月26日、裁判所は、ソズジュ紙のギョクメン・ウル記者とメディハ・オルグン記者を FETO に関与していた疑いがあるとして逮捕した。同2名は、容疑を否認している。政権に批判的な同紙の記者逮捕を受けて、野党等は、政治的な意図が背景にあり、報道の自由に対する侵害であるとして強く反発している。(5月28日付 HDN インターネット版)



(写真は、5月28日付 HDN インターネット版より)

#### ●クーデター未遂事件の容疑者は15万4,694名

内務省の発表によれば、昨年7月15日に発生したクーデター未遂事件に関し、これまで15万4,694名が容疑者となり、そのうち、5万136名が現在も拘留中、4万5,708名が拘束後に一時釈放中、2,763名が無罪となっている。

(5月27日付 HDN インターネット版)

#### ●MITがFETOの海外ネットワークについて報告

MITのFETOに関する報告により、FETOの世界的なネットワークについて、170か国に企業500社以上、数百の基金やメディア事業者、学校1,000校以上を擁していることが明らかとなった。(5月29日付 HDN インターネット版)

#### ●空軍将校が軍のクーデター動向をMITに事前通報していたことが判明

昨年7月15日に発生したクーデター未遂の数時間前に、空軍将校の1人が情報をMITに報告していたことが明らかになった。同将校によると、休暇中の昨年7月13日にデニズ・アルデミル軍司令官に呼び出され、MIT長官の身柄を確保し、ヘリコプターに乗せて飛ぶよう命じられたが、当日午後1時55分に命令を拒否して、MITに軍の反乱動向について通報した。同将校は元ギュレン派であるが、2014年を最後にギュレン派のミーティングには参加していないと主張している。(5月29日付 HDN インターネット版)

#### ●MITが国会にFETOが海外の情報機関の下で拡大したとの報告書を提出

MITは、国会に対し、ギュレン派がコードネームとオペレーション用回線を使用することで機密性を保持し、音声監視、違法盗聴、証拠偽造を行っていた事実から、1つ又は複数の情報機関の下で連携しながら活動を拡大してきたという見方を含む報告書を提出した。(5月30日付 HDN インターネット版)

#### ●ギュレンが支持者にシリア難民を装ってトルコから出国するよう指示

26日、情報機関筋は、フェットフッラー・ギュレンが支持者にトルコから出国するよう指示し、詳細なルートも示していることを明らかにした。ギュレン派の一部は、人身売買ブローカーに接触して5,000ユーロで偽造旅券を用意し、5,000ユーロを出国費用に充て、出国するまでトルコ語を話さず、シリア難民を装って脱出したとされる。(5月31日付 HDN インターネット版)

#### 【その他】

#### ●マニサ県でマグニチュード5.1の地震が発生

5月27日午後6時53分、マニサ県においてマグニチュード5.1の地震が発生した。震源の深さは10キロであり、この地震による被害や怪我人は報告されていない。(5月27日付 HDN インターネット版)

#### ●イスタンブールでイエニ・アキット紙編集長が娘婿に刺され死亡

29日、イスタンブールにおいてイエニ・アキット紙編集長カディル・デミレル氏が娘婿に刺殺された。デミレル氏の

娘が、夫からDVを受けたため、娘の父であるデミレル氏に助けを求めたが、口論が過熱し、刺殺事件に発展した。

(5月29日付 HDN インターネット版)

#### ●アフガニスタンのテロにより、在カブール・トルコ大使館建物に被害、職員は無事

トルコ外務省は、5月31日にアフガニスタン・カブールで発生したテロにより、在カブール・トルコ大使館にも被害が生じたが、同大使館の職員に負傷者はなかったと発表するとともに、テロを厳しく批判した。(5月31日付 HDN インターネット版)

## 軍事

#### ●マニサ県駐留兵士828名が細菌性腸感染症に感染

保健省は、マニサ県の軍基地で兵士828名が嘔吐と下痢の症状を訴え、5月25日現在、兵士59名が病院で治療中、うち1名は集中治療室に入っていると発表した。マニサ県知事は、兵士たちは細菌性腸感染症と診断されたと述べた。(5月26日付 HDN インターネット版)



(写真は、5月26日付 HDN インターネット版より)

#### ●在トルコ・独大使がインジリリック基地問題に言及

5月23日、マーティン・エルドマン在トルコ独大使は、トルコ政府が独軍拠点のインジリリック基地への独国会議員の訪問を拒否した問題について、2国間で危機を回避するために取り組んでいると述べた。(5月23日付 HDN インターネット版)

#### ●シュルナク県で軍のヘリコプターが墜落し、兵士13名が死亡

5月31日、シュルナク県のシェノバ橋から離陸した軍のヘリコプターが高圧線に絡まって墜落し、乗機していた兵士13名全員が死亡した。(5月31日付 HDN インターネット版)

## 社会

●イスタンブール・トンネル建設プロジェクトがスタート  
イスタンブールの渋滞緩和のため、鉄道及び道路併用型の3層構造のイスタンブール・トンネル建設プロジェクトがスタートした。1年間の地上及びボスフォラス海峡での地盤調査後、5年間で完成の予定。(5月26日付 HT 紙12面他)



(写真は5月26日付 HT 紙インターネット版から)

#### ●ガラタサライ島、一部取り壊される

イスタンブール市は、ボスボラス海峡に浮かぶ人工島であるガラタサライ島の違法建築部分を取り壊した。同島を管

理・運営するガラタサライ・クラブは、「建築法に沿った施設の建設を早期に進める」と発表した。(5月29日付HT紙22面他)



(写真は5月29日付HT紙インターネット版から)

### ●オスマン朝スタイルがトレンドに

イスタンブールの宮廷で供されたオスマン料理のレシピの多くは記録として残っていないが、近年オスマン朝時代のコンセプトが再評価される中、多くの一流ホテルやレストランはラマダン時期にオスマン料理の再現に挑戦している。イスタンブールでは、チュラーン・ホテル内のトゥーラ・レストランやカーリエ・モスク脇のアシタネ・レストラン、ボスポラス海峡沿いのフェリエ・レストランが伝統的なオスマン朝料理をそれぞれ提供している。(5月29日付HDN紙6面)



(写真は5月29日付HDN紙インターネット版から)

### ●エユップ・スルタン・モスクの霊廟、ラマダン期間中24時間オープンへ

文化観光省はムスリムにとっての重要な聖地の一つとされるエユップ・スルタン・モスクの敷地内にある霊廟を、訪問者が増加するラマダン期間中24時間開放することを決定した。

(5月30日付HT紙22面他)



(写真は5月30日付HT紙インターネット版から)

### ●ハイダルパシャ駅で本の見本市

6月3日から11日まで、アジア側ハイダルパシャ駅構内で第9回カドゥキョイ・ブック・フェアが開催される。180の出版社が参加する同フェアでは835人作家のサイン会も予定されている。(5月30日付HT紙22面他)

### ●第45回イスタンブール音楽祭始まる

5月30日、リュトウフィ・クルダル国際会議場(ハルビエ)で第45回イスタンブール音楽祭が開幕し、オープニング・コンサートが開かれた。今年の音楽祭は「UNUSUAL」をテ

ーマに6月21日まで開催される。

(5月31日付HT紙22面他)

### ●電動のメトロバス導入へ

「トルコ電動車プラットフォーム」のベルカン・バイラム代表は、イスタンブール工科大学で開かれた「スマート都市とイノベーション」に関する会議の席上、年内に電気メトロバスを導入し、その数を2年間で200台にする計画を明らかにした。(5月31日付HT紙23面他)

### ●1年半に500トンのアスベストが除去処理

カドゥキョイ区でこの1年半に解体された建物に使用されていたアスベストの量が498.5トンに上ることが判明した。イスタンブールの中でも再開発が活発に進められている同区では、建物の解体に当たっては環境保全局専門家による事前の検査を受ける必要があり、アスベストの含有が判明した場合、その除去処理が適切に行われな限り解体の許可は得られない。(5月31日付M紙16面他)

### ●5匹のオオカミの子、保護される

エスキシェヒル県で生後25日の5匹のオオカミの子供が発見された。5匹は自治体の動物保護センターで保護された。(5月31日付HDN紙7面他)



(写真は5月31日付HDN紙インターネット版から)

### ●オリーブ農家の反発を受けて、大臣が修正案を表明

オリーブ栽培地の管理等に関する内容を含む土地開発法の改正によって、オリーブ栽培地が容易に開発されかねないとして農家らが反発を強めていた問題で、オズル科学産業技術相は1デカル(1000㎡)に1本でもオリーブの木がある場合、その土地の開発は認めないとする修正改正案を発表した。(6月1日付HT紙8面他)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKI	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
IHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公社
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İşİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KEK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

  

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Ghan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index\_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。  
[istanbulweekly@it.mofa.go.jp](mailto:istanbulweekly@it.mofa.go.jp)

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2017.5.26～2017.6.1 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2016年		7件		2件		24件		2件
2017年	1件	3件	0件	0件	1件	5件	0件	0件

今週は、旅行者の方が、中東系の旅行者を名乗る男性から飲酒に誘われて、ぼったくりバーに連れて行かれ多額の現金を請求される被害が1件ありました。また、ショッピングセンターにおいて、2人組のトルコ人男性に声を掛けられ、話をしている間に逆側から子供に鞆を窃取される集団スリの被害が1件ありました。

★当館 HP 更新のお知らせ★

- [ジャパン・レール・パス](#)を利用するために在外公館で取得可能な書類のご案内 (06/02) **NEW**
- [江原総領事のボアジチ大学訪問](#) (5/29)